



森林保護から 地球を守る

心
あ
つ
た
か
ニ
ュ
ー
ス

NMCAA
NO3

2003年から2004年に森林破壊防止に取り組んだタツソアセベドさんがTEDで森林保護活動から得たこと気候変動防止への望み(を語っています)ので一部をご紹介します。

森林は気候の調整に重要な役目を果たしています。ブラジルでは降雨の源になる水分の70%は実際のところ森林から蒸発したものです。アマゾンだけでも毎日200億トンもの水を大気中に汲み上げています。世界中には約40億ヘクタールの森林があります。2000年前には60億ヘクタールほどの森林がありました。森林破壊のスピードは1990年代の終わりから2000年代の初めに加速しました。毎年2万7千方キロの森林の消失毎年コストリカの面積のほぼ半分が失われています。国家レベルでこの問題に取り組むことになりました。まず最初に国家宇宙局にシステムを導入して森林破壊が起きている場所をリアルタイムで観察することとしました。これによつて不法に伐採された木材を

没収できます。没収した木材の売り上げは保護プロジェクトへの寄付基金となっています。また贈収賄や不法な活動などの摘発にも役立っており、信用貸し付けや資金調達のルートを断ち切りました。こういった関係にメスを入れることで問題を解決しようとした。土地の保有権の問題にも手を付けました。紛争解決にとっても重要なことです。5千万ヘクタールの土地が保護されました。その内8百万ヘクタールは原住民たちの土地でした。では結果を見てみましょう。過去10年間にブラジルにおける森林伐採は75%減少しました。しかし、まだ全く不十分です。実際のところ

2013年にアマゾンでは50万ヘクタール以上の森林が破壊されています。我が国は森林面積においてヒーローといえるでしょうが、森林破壊のチャンピオンなのです。そこで私が考えている次のステップは、ブラジル全体の森林の消失をゼロに抑える試みであり、これを2020年までに達成することです。これが我々の次なるステップです。タツソアセベドさんは、森林保護事業から、気候変動に関する仕事に就きました。ゴールは地球の平均気温の増加を2度までに抑えることです。過去10年間に比べてブラジルでは、温室効果ガス排出の60%を森林伐採が占めていたが、

いまでは30%を少し下回り。世界全体では60%がエネルギー消費に起因している。だから、エネルギー問題に直接的にメスを入れ森林破壊対策と同様に対処すれば目標を達成できるかもしれないと彼は考えています。そしてやるべきことの一つに政府、企業と市民社会が責任を分担することを上げています。誰にもやるべきことがあり皆で行動しなければならぬと言っています。

編集後記

実際に動いた人が必要なことの一つにみんながやる必要があると言っています。宇宙船地球号の乗組員の私達が、この船のことを大事に考えて行動することで、心を一つにできたらいかに船が一番うれしいことだと思えます。